

<p>【イベント名】</p> <p>日本看護研究学会第50回学術集会 交流集会12 演題：看護研究を社会実装するための大学と病院看護部との協働 -九州大学看護共創・実装研究拠点の試み-</p>
<p>【期日】2024.8.25</p>
<p>【会場/参加者】</p> <p>奈良県コンベンションセンター 保健学科：藤田 君支 橋口 暢子 鳩野 洋子 寺岡 佐和 甲斐 梓 九州大学病院：江口 恭世 渡邊 則子</p>

【概要】


交流集会では、大学の看護系教員と大学病院看護師との連携を主軸とした本拠点の組織づくりの特徴を紹介しながら、実際の研究活動例について報告した。後半には参加者の皆様と臨床看護師との共同研究の取り組みなどについて情報交換を行い、皆様の臨地・臨床との研究連携の経験を共有しながら、看護系大学の教員が臨地・臨床において研究成果の実装を展開する上での課題について意見交換を行った。参加者からは運営上の質問が多かった。

KYUSHU UNIVERSITY

交流集会12の進行内容

司会(鳩野)

- 九州大学看護共創・実装研究拠点の概要説明(藤田)
- 臨床と学部との連携から九州大学看護共創・実装研究拠点への期待(江口)
- 周術期口腔ケアの実装研究例の紹介(渡邊)
- 研究成果を臨床現場に実装するための試み PPE研究の概要(橋口)
- PPE研究への病棟看護師の取り組み(甲斐)
- 参加者との意見交換(寺岡)





KYUSHU UNIVERSITY

九州大学看護共創・実装研究拠点への期待



大学病院(臨床)



Research Center for
Nursing Innovation and Implementation,
Kyushu University (RCNII)



医学部保健学部門(学部)

- 臨床のシーズを拾い上げ、学部と連携し研究へと繋ぎ、臨床へ還元する
- 研究によりEBNの構築を行い、臨地・臨床における社会実装を目指す
- 研究的視点の獲得、研究マインドをもつ看護師の育成、看護研究を推進できる人材の育成
- 社会実装に向けたBest Practiceの創出 臨地/地域における社会実装

研究メンバーのモチベーションアップのために

- 研究指導によるスキルアップ**
 時間の確保と勤務調整

他のスタッフへ還元できるようにしっかりと学びを身に蓄けていきたい
- 学会発表の経験による成功体験と実績**
 学会への積極的な参加や学会発表における支援
- 研究の取組みを部署内でオープンにする**
 進捗状況の報告、学会発表前後の報告、意見交換
 院内開催の看護研究発表会

提示されたスライド



発表の様子

提示されたスライド



交流集会を終えて